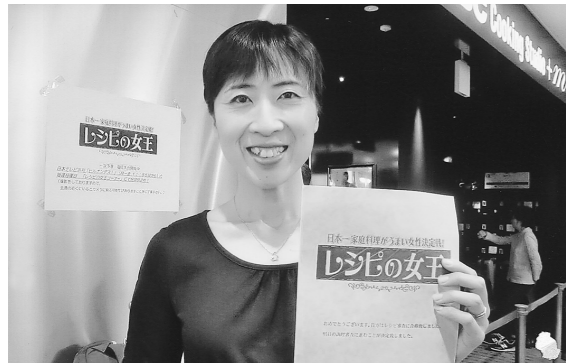


氷川町産 トマト料理で全国大会へ

5月21・22日に行われた、『レシピの女王』（※1）福岡大会において、志水あおいさん（北鹿野）が、『トマトたっぷり麻婆丼』を作られ、見事一次予選を通過。8月6・7日に東京で行われる二次予選に進出されました。

トマト農家の志水さんは、「家族が栽培したトマトで作った料理を、有名シェフに食べてもらえてとても感激しました。また、八代産のトマトをPRできて良かったと思います。東京大会では精一杯がんばってきます。」と感想と抱負を述べられました。

※1『レシピの女王』
簡単＆おいしい「アイディア家庭料理」で競う大会。
日本テレビ「ヒルナンデス」企画。



▲超一流シェフも認めた腕前!! 志水あおいさん

トマトたっぷり! イタリアンと中華の融合!!

●材料

トマト(ソース用 5〜6個 500g)・中玉トマト(6個)
絹ごし豆腐(中1丁)・豚ひき肉(150g)・ねぎ(1本)・しょうが(15g)
にんにく(1片)・サラダ油(大さじ1)・温かいご飯(600g)
れんこん(150g)・青じそ(千切り5〜7枚) ※分量の1/3はトッピング用に使います
鶏ガラスープの素(小さじ1)・豆板醤(大さじ1)・甜麺醤(大さじ1)
砂糖(大さじ1)・しょう油(小さじ1)・塩(少量)・ごま油(大さじ1)

●作り方

- ①ソース用トマトを4つ切りにし、鍋に入れて中火にかけます。途中2、3度かき混ぜ、実が崩れてきたら裏ごしします。
- ②しょうが、にんにくは潰してみじん切りにし、サラダ油を入れたフライパンに浸しておきます。
- ③豆腐を2cm角に切り、塩(分量外)を加えたたっぷりのお湯に入れて、ひと煮立ちさせます。
- ④②のフライパンに火をつけ、しょうが、にんにくを炒め、香りが出たら小口切りにしたねぎ(白根部分)を加えます。ねぎがしんなりしたら肉を入れて炒めます。
- ⑤肉の色が変わってきたらフライパンの端で豆板醤を炒め、水を切った豆腐を加えて更に炒めます。①を入れて煮ていきます。
- ⑥⑤に鶏ガラスープの素、甜麺醤、砂糖、しょう油、塩を加えて更に煮込みます。
- ⑦青じそを千切りにし、れんこんは5mmの薄切りにします。沸騰した湯に塩と酢を加え、れんこんを1〜2分程茹でます。ザルにあげたら5mm角に切ります。
- ⑧⑥が煮詰まったらごま油、小口切りにしたねぎ(青い部分)を加え、仕上げに4つ切りにした中玉トマトを入れて火を止めます。
- ⑨温かいご飯に⑦を混ぜ合わせ器に盛ります。⑧をかけて青じそをトッピングしたら出来上がりです。

平成23年度 ふれあい大学開講式

6月22日、氷川町文化センターにおいて、ふれあい大学開講式が行われました。

運営委員会副会長の小野一成さんが開会を告げ、運営委員会会長の村崎厚美さんが会長挨拶を行いました。町老連交通安全推進部会会長の田上春喜さんによる交通安全宣言のあと、運営委員会副会長の米沢徹さんの閉会の辞で式を閉じました。

続く記念公演では、大島優希さん、瀬井真奈美さんによるステージが行われ、津軽三味線の独奏や民謡とのコラボ、さらには、熊本城築城400年祭おてもやん大会グランプリの民謡披露もあり、会場の皆さんも大変喜ばれていました。



▲津軽三味線奏者の大島優希さん



▲民謡を披露された瀬井真奈美さん

竜北中女子バスケット部 県大会で優勝

6月17日、役場大会議室において、6月4・11・12日に行われた、第39回 熊本県中学生バスケットボール優勝大会で見事優勝を果たした、竜北中学校女子バスケット部の皆さんが、藤本町長へ優勝の報告を行いました。

松崎百香キャプテン(中大野)は、「今回、優勝することができましたが、本番は、県中体連だと思っています。大会に向け、練習し、努力していきます。」と今後に向けての抱負を語ってくれました。

最後の最後まで1点を争う、激戦を制し、優勝を果たした部員の皆さんの顔には、自信と笑顔が満ち溢れていました。



▲見事優勝を果たした竜北中女子バスケット部の皆さん



▲優勝を報告する松崎キャプテン

九州大会出場選手紹介

6月15日、役場庁議室において、藤本町長より出場選手へ報奨金が手渡され、大会へ向けて、激励がありました。

出場選手、大会等については以下のとおりです。

第29回 九州少年柔道大会 6月25日〜6月26日：佐賀県 基山町

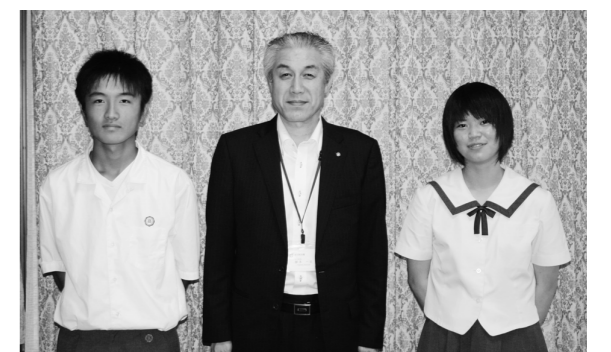
所属	氏名	地区名	種目
氷川署柔道クラブ 宮原小4年	山本 楓花	川上	柔道 小学4年女子 無差別

第17回 全九州高等学校アーチェリー競技大会 6月18日〜6月19日：長崎県 佐世保市

所属	氏名	地区名	種目
氷川高校3年	岡本 彩希	迫	アーチェリー団体
氷川高校2年	上原 佑太	立神	アーチェリー個人



▲山本楓花さん(右)



▲上原佑太くん(左)、岡本彩希さん(右)